

紀州小山家文書●目次

一	文保二年十二月二十日	後醍醐天皇口宣案	3
二	興國元年八月二十四日	後村上天皇口宣案	4
三	興國二年五月三十日	後村上天皇繪旨	5
四	正平七年三月二十四日	後村上天皇繪旨	6
五	正平十年五月九日	後村上天皇口宣案	7
六	延元四年七月十九日	後村上天皇繪旨	8
七	六月三日	後村上天皇繪旨	9
八	七月十七日	大將軍某御教書	10
九	延元元年六月七日	熊野山上綱小山三郎実隆軍忠状	11
一〇	延元二年三月	小山新左衛門尉実隆軍忠状	12
一一	貞和三年八月二十三日	足利直義軍勢催促状	13
一二	天正十九年九月十六日	藤堂高虎軍役催促状	14
一三	正慶二年三月二十三日	関東御教書写	15
一四	建武三年四月三日	法勝寺某令旨写	16
一五	延元二年九月十八日	後醍醐天皇繪旨写	17
一六	延元二年九月十八日	刑部卿某軍勢催促状写	18

中世編

一七	正平十年五月十三日	後村上天皇繪旨写	19
一八	九月三日	小山新左衛門実隆軍忠状写	20
一九	三月十二日	丹下盛賢書状写	21
二〇	六月八日	畠山氏奉行人連署状写	22
二一	慶長六年三月二十六日	豊臣氏奉行人連署書状写	23
近世編			
二二	文治五年二月	出羽国羽黒山着の様子窺い等書状写	27
二三	永正十一年二月二日	田島日記	27
二四	天文十七年十二月吉日	田島日記	28
二五	十一月吉日	かいとま日記	31
二六	天文十九年三月吉日	安元二年七月の兵法二十三ヶ条写	31
二七	天正七年六月	磯多共住居場所書付	38
二八	天正十五年五月	宗門旦那寺請合掟等写	39
二九	天正七年六月	小山領西向浦にて甚四郎望みの場所へ住居申渡	40
三〇	寛永十九年三月二日	本多因幡へ小山佐次兵衛奉公につき申上	40
三一	寛永十九年三月二日	本多因幡へ小山佐次兵衛奉公につき申上	41
三二	寛永十九年閏九月吉日	武芸免許皆伝目録	42
三三	寛文七年二月三日	大嶋御番所勤役一件につき訴状	43
三四	寛文十一年十二月	与良郷尾崎村物成帳	44
三五	延宝五年九月八日	古座浦鯨船出来につき船納屋借用一札	54
三六	貞享五年五月	古座鯨船納屋建築につき地所借用一札	54
三七	元禄十三年三月	小山家家来儀式不勤一件につき申上	55
三八	元禄十三年三月	小山家家来儀式不勤一件につき口上書	56
三九	享保十五年二月	切支丹宗門改前書	57
四〇	延享五年八月	口熊野山廻りならびに大嶋浦遠見番任命書	57
四一	宝暦八年九月	殿様御入国の節御目見方書付	58
四二	安永五年四月十四日	六本鯉取立代銀納方の儀につき小山段右衛門書状	71
四三	安永五年七月	地士・帯刀人・百姓等由緒書上	72
四四	安永六年四月	地士由緒書上	76
四五	安永七年四月	古田村六勝寺より西向村成就寺へ旦那替え願ひ	85
四六	安永七年四月	小山家女子古田村六勝寺より旦那替えにつき一札	85
四七	安永七年四月	小山家女子西向村成就寺へ旦那替えにつき一札	85
四八	安永九年初夏	小山家系譜序文	86
四九	天明三年正月	儉約取締方条々	88
五〇	天明四年七月	小山段右衛門病氣につき倅弥一郎へ大嶋遠見番勤役入替え願ひ	94

五一	天明四年九月	西向村新田畑検地帳……………	99
五二	天明四年九月	西向村岩崎之鼻屋敷及び船納屋屋敷検地願い……………	101
五三	天明七年十月	小山弥一郎病気の節大嶋遠見番勤役諸達控……………	105
五四	天明七年十月	小山弥一郎病気の節大嶋遠見番勤役諸達控……………	117
五五	天明八年正月二十四日	大殿様口熊野水嶋まで御成につき書上……………	128
五六	寛政二年八月	小山半三郎病死につき親段右衛門再勤願い……………	129
五七	寛政六年閏十一月	殿様熊野へ御成の節御目見地土等名前書上……………	132
五八	寛政十年十月	小山段右衛門・弥十郎大嶋浦遠見番勤仕につき御扶持方手形違書控……………	133
五九	寛政十二年五月	小山弥十郎病気につき大嶋遠見番加役赦免願い等書付……………	137
六〇	嘉永六年六月	異国船渡来時の海陸警固人数等書上……………	140
六一	文化四年十月	先祖甚四郎当所住居以来御用勤め方申上……………	142
六二	文化八年	古座村上野家由緒書上……………	142
六三	文化十三年十二月	小山家普請につき諸事書上……………	144
六四	文政九年九月	異国船絵図……………	147
六五	文政十二年八月	小山段右衛門病身につき忤熊之丞へ大嶋遠見番相統願い……………	150
六六	文政十二年九月	小山段右衛門病身につき忤熊之丞へ大嶋遠見番相統願い……………	156
六七	文政十三年二月	小山熊之丞母・妻宗門改一札……………	161
六八	天保四年五月	大嶋遠見番従来通り四人にて勤仕申付願い……………	161
六九	天保五年七月六日	享保十八年飢饉以後の疫病流行の薬法写触書……………	162
七〇	天保十二年正月	村頭喜兵衛等二十一名の者身持ち不埒につき詫状……………	164
七一	安政三年正月	安政元年十一月地震津波記録……………	165
七二	安政四年十月	異体船発見ならびに遠見番所等諸事手鏡……………	169
七三	元治二年孟春	小山家所持本新田畑・山林書上帳……………	176
七四	慶応二年正月	御館小山家へ仲間共勤仕約定につき一札……………	184
七五	慶応二年七月朔日	英国海軍提督の命により潮岬灯台建造場所調査につき申上……………	186
七六	明治四年九月二十六日	洲崎甚四郎子孫久兵衛等へ平民同様の申達につき一札……………	186
七七	明治四年九月	仲地一同名分変更の節小山家へ従来の規則継続約定につき書付……………	188
七八	丑正月	小山段右衛門病身につき忤熊之丞へ大嶋遠見番勤役相統願い……………	189
七九	丑三月	大嶋浦不実者四名御咎めにつき詫状……………	189
八〇	辰三月	大嶋浦野田浅右衛門不調法にて役儀召上につき忤へ役儀申付願い……………	190
八一	未八月十一日	小山家由緒書上……………	190
八二	未八月十一日	小山家由緒書上……………	191
八三	申正月	忤小山弥市郎病死につき弟半三郎へ大嶋浦遠見番跡役申付願い……………	191
八四	申二月	大嶋浦地土清水忠兵衛病死につき申上……………	192
八五	申二月	大嶋浦地土清水忠兵衛病死につき申上……………	193
八六	申七月	西向村地土巽羽左衛門由緒書上……………	193

八七	申八月十九日	小山佐次兵衛妻子人数書上……………	194
八八	申十月	大嶋遠見番風雨・病気等の節倅段蔵へ名代勤方申付願い……………	195
八九	申十一月六日	西向村地土小山段右衛門倅段蔵へ大嶋浦加番役申付につき申達……………	196
九〇	申十一月八日	小山弥十郎所まで状箱届け方申付廻状……………	197
九一	戌三月	古田村六勝寺・西向村成就寺焼香の儀につき口上書……………	197
九二	亥九月十三日	御用の儀につき封状一通継届方申付……………	199
九三	正月十日	御年賀の鯨頂戴につき飯嶋五郎右衛門礼状……………	199
九四	正月二十六日	小山左二兵衛大坂表にて手柄につき石十右衛門書状……………	199
九五	正月	小山弥十郎所持繪旨・書状点数教書上……………	200
九六	二月二十三日	改年吉慶の小山茂右衛門書状……………	200
九七	二月晦日	鯨皮身頂戴につき礼状……………	201
九八	三月二日	大坂冬の陣の節本多因幡へ小山助之丞親子供仕につき小山弥十郎申上……………	201
九九	三月二十七日	年始祝詞に塩盤頂戴につき寺嶋又四郎礼状……………	202
一〇〇	卯月十二日	小山新左衛門御番勤方の儀奉行衆まで届方申渡の旨竹元丹後書状……………	202
一〇一	四月十六日	樫野崎沖にて唐船体の船二艘発見につき注進……………	203
一〇二	卯月十八日	小山佐佐兵衛死去につき山川帯刀弔文……………	204
一〇三	卯月十九日	切支丹改手形ならびに寺手形受取につき飯島五郎右衛門等書状……………	205
一〇四	四月晦日	異国船漂流につき上野浦・大嶋浦遠見番所詰め地土三名選出申渡……………	205
一〇五	五月三日	小山段右衛門家内の者寺替えにつき水嶋惣右衛門書状……………	206
一〇六	五月七日	無事帰着につき脇文右衛門書状……………	206
一〇七	五月十三日	清水忠兵衛急病死の様子草案差上につき文言加除願い……………	207
一〇八	五月十四日	小山左次兵衛跡役の儀段蔵へ申渡されにつき安井弥右衛門書状……………	208
一〇九	五月十四日	小山左次兵衛跡役の儀段蔵へ申渡されにつき堀江段右衛門書状……………	208
一一〇	五月十四日	一品御願いの儀申来りにつき承知の旨安井弥右衛門書状……………	208
一一一	五月二十日	御用につき周参見役所へ出頭の旨中嶋雄左衛門差紙……………	209
一一二	五月二十七日	小山段右衛門家内女子寺替えの儀につき水嶋惣右衛門書状……………	209
一一三	五月二十九日	小山段右衛門母病気快方につき看病願い見合わせの旨中西孫右衛門書状……………	210
一一四	五月	小山段右衛門病死につき倅段蔵へ地土・大嶋遠見番本役相続申渡……………	210
一一五	五月	小山段蔵大嶋遠見番赦免につき養子伊助へ地土株・遠見番役相続申渡……………	210
一一六	六月十日	中納言様帰城御悦のため参上申渡の旨飯嶋五郎右衛門等書状……………	211
一一七	六月十三日	切支丹手形文言悪文につき書き替えの上差出の旨飯嶋五郎右衛門書状……………	211
一一八	六月二十四日	由緒御尋ねにつき面談の上申上の旨小山弥重郎書状……………	212
一一九	六月二十五日	大御所様薨御につき鳴物等停止申触申達……………	212
一二〇	七月二日	本状一通小山左次兵衛・弥十郎方まで届け方廻状……………	213
一二一	七月五日	山川帯刀より松田玄雲等の消息御尋ねにつき松田雲沢書状……………	213
一二二	七月五日	日光参詣のため御奉公赦免等近況申達の山川帯刀書状……………	214

一三三	七月八日	加増拝領の御祝詞ならびに鯉節頂戴につき飯嶋五郎右衛門礼状	214
一二四	七月十一日	殿様逝去につき地士の者へ諸所取締方申渡	215
一二五	七月十三日	殿様逝去につき在々・浦々等取締方申渡	215
一二六	七月十六日	殿様逝去につき在々巡回申渡	216
一二七	七月十七日	小山段右衛門養子弥十郎病気につき段右衛門悴段蔵へ大嶋御番所詰め申渡願ひ	216
一二八	七月二十九日	親左次兵衛跡目の儀新左衛門兄弟へ申付につき竹元丹後書状	217
一二九	八月六日	御用につき代官所へ出頭の旨早川伝兵衛差紙	218
一三〇	八月十一日	殿様法事につき在中地士・大庄屋出座の旨玉置弥太夫書状	218
一三一	八月十二日	小山段右衛門遠見番跡役の儀悴熊之丞へ申付につき書状	219
一三二	八月十四日	小山左次兵衛死去につき妻子・懸り人の有無等取り調べの旨飯嶋五郎右衛門等書状	220
一三三	八月十七日	鯉節頂戴につき飯嶋五郎右衛門礼状	220
一三四	八月二十四日	小山弥十郎病気につき大嶋浦遠見加番赦免申渡	221
一三五	八月	大嶋浦遠見番地士小山段右衛門病気につき悴熊之丞へ相続申渡	221
一三六	九月六日	小山左次兵衛跡目の儀新左衛門兄弟へ申付につき竹元丹後書状	221
一三七	九月十三日	別紙の通り和歌山奉行衆より申越されにつき青木森右衛門等礼状	222
一三八	九月十六日	御悦のため大嶋御番所地侍小山弥十郎へ登城御目見申渡	222
一三九	九月十八日	鯉節頂戴につき井上段七礼状	223
一四〇	九月二十五日	御用につき出頭の旨中西孫右衛門書状	223
一四一	九月二十七日	屋敷・畑検地願書送付方の儀につき小山段右衛門書状	223
一四二	九月二十七日	普請の儀につき小山段右衛門書状	224
一四三	九月二十七日	各遠見番所へ異国船絵図下付につき熟見油断なく勤方申渡	225
一四四	九月	口熊野山廻り小山段蔵御用なきにつき暇申渡	225
一四五	十月二十一日	親小山佐次兵衛死去につき悴新左衛門書状	226
一四六	十一月二日	段右衛門と改名願ひの儀聞届けにつき心得方申渡	226
一四七	十一月二日	小山段右衛門悴段蔵へ御用につき周参見役所へ出頭の旨中嶋雄左衛門差紙	226
一四八	十一月二日	鯉節頂戴につき寺嶋又四郎礼状	227
一四九	十一月三日	鯉節頂戴につき井上段七礼状	227
一五〇	十一月六日	小山佐次兵衛死去につき弟弥十郎へ大嶋御番所勤方申渡	228
一五一	十一月六日	小山佐次兵衛死去につき弟弥十郎へ大嶋御番所勤方申渡	228
一五二	十一月十一日	小山段右衛門悴段蔵へ加役申付につき礼状	229
一五三	十一月十五日	大嶋浦切支丹船番小山左次兵衛死去につき悴兄弟へ御扶持方相続申渡	230
一五四	十一月十五日	大嶋浦切支丹船番小山左次兵衛死去につき悴兄弟へ御扶持方相続申渡	231
一五五	十一月二十二日	小山左次兵衛跡式の儀小山弥十郎へ申付につき申達	232
一五六	十一月二十三日	小山左次兵衛跡目相続の儀等申来りにつき竹元丹後書状	232
一五七	十二月三日	同名小山助太夫・武兵衛無事勤仕につき飯嶋五郎右衛門書状	233

一五八	十二月	南龍院様御入国の節小山段蔵御目通願い	233
一五九	七日	大嶋御番所勤方の儀につき文右衛門書状	234
一六〇		小山家代々秘藏宝物目録	235
一六一		本多因幡より御尋ねの儀につき申上	235
一六二		御家役順書	235
一六三		小山佐次兵衛弟弥十郎御目通につき書状	239
一六四		大嶋御番所の儀相役伴蔵と支障なく勤仕につき書状	239
一六五		委細の儀拝顔の上申上の旨書状	239
一六六		同名小山左次兵衛跡目相続の儀申来りにつき返書	240
一六七		大嶋御番所詰め等の儀につき書状	240
一六八		野田浅右衛門等大嶋御番所勤番の節眼鏡紛失にて役儀召上につき帰役願い	241
一六九		異国船来航の節船酔いのため注進致さずにつき扶持方召上等の口上	241
一七〇		小山段蔵代山廻り役勤仕の節在々槻・楠ならびに御役等書付	242
一七一		仏事法度十五条のうち二か条書上	245
一七二		大殿様御出城日記	246
一七三		御目見の者名前書上	247
一七四		近年家数増加につき西向村海辺の所持地開墾願い	249
一七五		古田村六勝寺・西向村成就寺小山家旦那替え一件につき書上	250
一七六		小山段右衛門家内女子の分古田村六勝寺より西向村成就寺旦那へ寺替えにつき書状	251
一七七		切支丹改書の儀につき書状	252
一七八		普請望みの儀につき書状	252
一七九		皮細工渡世の皮屋由緒等につき書上	252
一八〇		鯨頂戴につき礼状	253
番外		村々様子等書上	253
		小山家由緒系譜(一)	265
		小山家由緒系譜(二)	295
		小山家由緒系譜(三)	312
		小山家由緒系譜(四)	331
		小山家由緒系譜(五)	354
参考史料一	明治八年	小山家所蔵文書書上	377
参考史料二	明治十四年	小山家所蔵文書書上	378
参考史料三	明治三十六年	小山家所蔵文書書上	379
参考史料四	明治四十三年	小山家所蔵文書書上	385

参考史料五 昭和九年 小山家所蔵文書上

391

発刊の言葉

橋川俊忠 i

翻刻・編集にあたって

田上 繁 401

阪神大震災で消えた小山家文書

網野善彦 407